

研修医評価票Ⅱ（案）

「B. 資質・能力」に関するマイルストーン

研修医名： _____

研修分野・診療科： _____

研修期間： _____年____月 ____ ~ _____年____月

評価医師名： _____

記載日： _____年____月____日

レベルの説明

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
臨床研修の開始時点で期待されるレベル。モデルコア・カリキュラムの到達目標相当	臨床研修の中間時点で期待されるレベル	臨床研修の終了時点で期待されるレベル	上級医として後進を監督できるレベル

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

下位基準	観察機会なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で期待されるレベル)	レベル4
① 人間の尊厳と生命の不可侵性を尊重する。		<input type="checkbox"/> 医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 <input type="checkbox"/> 患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。	<input type="checkbox"/> 尊重の念を示すことができる	<input type="checkbox"/> 十分に尊重し、それに基づく行動ができる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。			<input type="checkbox"/> 基本的な配慮と義務を果たすことができる	<input type="checkbox"/> 十分な配慮と義務を果たすことができる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。			<input type="checkbox"/> 倫理的なジレンマの存在を認識できる	<input type="checkbox"/> 関係者と協議しながら必要な判断と対応ができる	<input type="checkbox"/> 相互尊重に基づいて多面的に判断し、適切に対応できる
④ 利益相反を認識し、管理方針を遵守する			<input type="checkbox"/> 利益相反とその管理方針を認識できる	<input type="checkbox"/> 利益相反の管理方針を遵守できる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。			<input type="checkbox"/> 透明性確保と不正防止の必要性を認識できる	<input type="checkbox"/> 透明性確保と不正防止を実行できる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
総合評価 (必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：

2. 医学知識と問題対応能力

発展し続ける医学の中で必要な知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

下位基準	観察 機会 なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 主な症候について、鑑別診断と初期対応ができる。		<input type="checkbox"/> 必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。 <input type="checkbox"/> 講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。	<input type="checkbox"/> 指導医の下で、基本的な鑑別診断と初期対応ができる	<input type="checkbox"/> 独立して、基本的な鑑別診断と初期対応ができる	<input type="checkbox"/> 鑑別診断と初期対応について後進を指導できる
② 患者に関する情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮して臨床決断を行う。			<input type="checkbox"/> 指導医の下で、患者に関する情報を収集し、患者の意向に配慮した臨床決断ができる	<input type="checkbox"/> 独立して、患者に関する情報を収集し、患者の意向に配慮した臨床決断ができる	<input type="checkbox"/> 患者に関する情報の収集と患者の意向に配慮した臨床決断について後進を指導できる
③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。			<input type="checkbox"/> 指導医の下で、保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案できる	<input type="checkbox"/> 独立して、保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行できる	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画の立案と実行を後進に指導できる
総合評価（必須）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：

3. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、意向に配慮した診療を行う。

下位基準	観察 機会 なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。		<input type="checkbox"/> 必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 <input type="checkbox"/> 緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明ができる。	<input type="checkbox"/> 指導医の下で、基本的な情報を心理・社会的側面を含めて収集できる	<input type="checkbox"/> 独立して、基本的な情報を心理・社会的側面を含め、効果的かつ安全に収集できる	<input type="checkbox"/> 複雑な問題を抱える患者に対しても、独立して、心理・社会的側面を含め、効果的かつ安全に情報収集できる
② 患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。			<input type="checkbox"/> 指導医の下で、基本的な疾患の最適な治療を安全に実施できる	<input type="checkbox"/> 独立して、基本的な疾患の最適な治療を安全に実施できる	<input type="checkbox"/> 複雑な問題を抱える患者に対しても、独立して、最適な治療を安全に実施できる
③ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を適切かつ遅滞なく作成する。			<input type="checkbox"/> 指導医の下で、医療記録と文書を適切かつ遅滞なく作成できる	<input type="checkbox"/> 独立して、医療記録と文書を適切かつ遅滞なく作成できる	<input type="checkbox"/> 医療記録と文書の作成について後進に記載法の指導ができる
総合評価（必須）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：

4. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

下位基準	観察 機会 なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で患者や家族に接する。		<input type="checkbox"/> コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。 <input type="checkbox"/> 良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。 <input type="checkbox"/> 患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。 <input type="checkbox"/> 患者の要望への対処の仕方を説明できる。	<input type="checkbox"/> 適切な接遇が概ねできる	<input type="checkbox"/> 適切な接遇が常にできる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、わかりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。			<input type="checkbox"/> 指導医の下で、必要な情報を整理し、説明して、患者の主体的な意思決定を支援できる	<input type="checkbox"/> 独立して、必要な情報を整理し、わかりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援できる	<input type="checkbox"/> 患者への説明と患者の主体的な意思決定の支援について後進を指導できる
③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。			<input type="checkbox"/> 指導医の下で、患者や家族のニーズを把握できる	<input type="checkbox"/> 独立して、患者や家族のニーズを把握できる	<input type="checkbox"/> 独立して、患者や家族のニーズについて後進を指導できる
総合評価（必須）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：

5. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

下位基準	観察 機会 なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。		<input type="checkbox"/> チーム医療の意義を説明でき、チームの一員として診療に参加できる。 <input type="checkbox"/> 自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。	<input type="checkbox"/> 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を説明できる。	<input type="checkbox"/> 医療チームの目的、チーム構成員の役割を理解して実践に活かすことができる	<input type="checkbox"/> モデルとなる考えと行動を他者に示すことができる
② チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。		<input type="checkbox"/> チーム医療における医師の役割を説明できる。	<input type="checkbox"/> 指導医の下で、必要な情報共有と連携できる	<input type="checkbox"/> 独立して、必要な情報共有と提供ができ、連携してチーム医療を実践できる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
総合評価 (必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：

6. 医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

下位基準	観察機会なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、評価・改善に努める。		<input type="checkbox"/> 医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全の重要性を認識・理解できる	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全の重要性を認識し、日常診療で改善に向けた行動ができる	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示すことができる
② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。		<input type="checkbox"/> 医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる	<input type="checkbox"/> 指導医に対して十分に、報告、連絡、相談ができる	<input type="checkbox"/> 指導医に対して必要時に、報告、連絡、相談ができる	<input type="checkbox"/> 報告、連絡、相談を受ける立場として対応できる
③ 医療事故等の予防と事後の対応ができる。		<input type="checkbox"/> 医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる	<input type="checkbox"/> 指導医の下で、医療事故等の予防と事後対応ができる	<input type="checkbox"/> 独立して、一般的な医療事故等の予防と事後対応ができる	<input type="checkbox"/> 独立して、きめ細かな医療事故等の予防と事後対応ができる
④ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む）を理解し、自らの健康管理に努める。		<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理の必要性和自らの健康管理の必要性を理解できる	<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理の必要性を理解し、自らの健康管理ができる	<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理を理解し、自らの健康管理のみならず、他者の健康管理にアドバイスできる	
総合評価（必須）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：

7. 社会における医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

下位基準	観察機会なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。		<input type="checkbox"/> 離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 <input type="checkbox"/> 医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 <input type="checkbox"/> 災害医療を説明できる <input type="checkbox"/> 地域医療に積極的に参加・貢献する	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度があることを認識できる	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解できる	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用できる
② 健康保険、公費負担医療を適切に活用する。			<input type="checkbox"/> 健康保険、公費負担医療の制度を理解できる	<input type="checkbox"/> 健康保険、公費負担医療が適用される状況下で適切に活用できる	<input type="checkbox"/> 健康保険、公費負担医療の適用の可否を自ら判断し、適切に活用できる
③ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。			<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解できる	<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案できる	<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行できる
④ 予防医療・保健・健康増進に努める。			<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進の必要性を理解できる	<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進に関わる活動ができる	<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進に改善案などが提案できる
⑤ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。			<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解できる	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解し、地域での実践に関わることができる	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解し、その一員として積極的に推進できる
⑥ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える			<input type="checkbox"/> 災害医療やパンデミックなどの非日常的な医療需要が起りうることを認識できる	<input type="checkbox"/> 災害医療やパンデミックなどの非日常的な医療需要時に必要な医療を想定できる	<input type="checkbox"/> 災害医療やパンデミックなどの非日常的な医療需要に想定し、実際に対応できる
総合評価 (必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コメント：					

8. 科学的探究

医学と医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学医療の発展に寄与する。

下位基準	観察 機会 なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 医療上湧きがってきた疑問点を研究課題に変換する。		□研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。 □生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	□ 医療上の疑問点を認識できる	□ 医療上の疑問点を研究課題に変換できる	□ 医療上の疑問点を研究課題に変換し、実際に研究計画を立案遂行できる
② 科学的研究方法を理解し、活用する。			□ 科学的研究方法を理解できる	□ 指導医の下で、科学的研究方法を理解し、実践できる	□ 科学的研究方法を理解し、自ら実践し、まとめることができる
③ 臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。			□ 臨床研究や治験の意義を理解できる	□ 臨床研究や治験の意義を理解し、協力できる	□ 臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床に適用できる
総合評価 (必須)	□	□	□	□	□

コメント：

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために常に省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける

下位基準	観察 機会 なし	レベル1 (コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時に期待されるレベル)	レベル4
① 早い速度で変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。		□生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。	□ 医学知識・技術の吸収のために自己研鑽の必要性を認識できる	□ 医学知識・技術の吸収のための自己研鑽のために努力できる	□ 医学知識・技術の吸収のために常に自己省察し、自己研鑽のために努力できる
② 同僚、後輩、医師以外の医療職を教え、共に学ぶ。			□ 他の医師・医療者から学ぶ姿勢を身につける	□ 他の医師・医療者と共に研鑽できる	□ 他の医師・医療者と共に研鑽し、後進の教育ができる
③ 国内外の政策や医療上の最新の動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む）を把握する。			□ 国内外の政策や医療上の最新の動向の重要性を認識できる	□ 国内外の政策や医療上の最新の動向を把握できる	□ 国内外の政策や医療上の最新の動向を把握し、実臨床に活用できる
総合評価（必須）	□	□	□	□	□

コメント：